

水面月

DOJIN  
R18  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止

彼女は

初めから

堕ちていた





彼女は

初めから

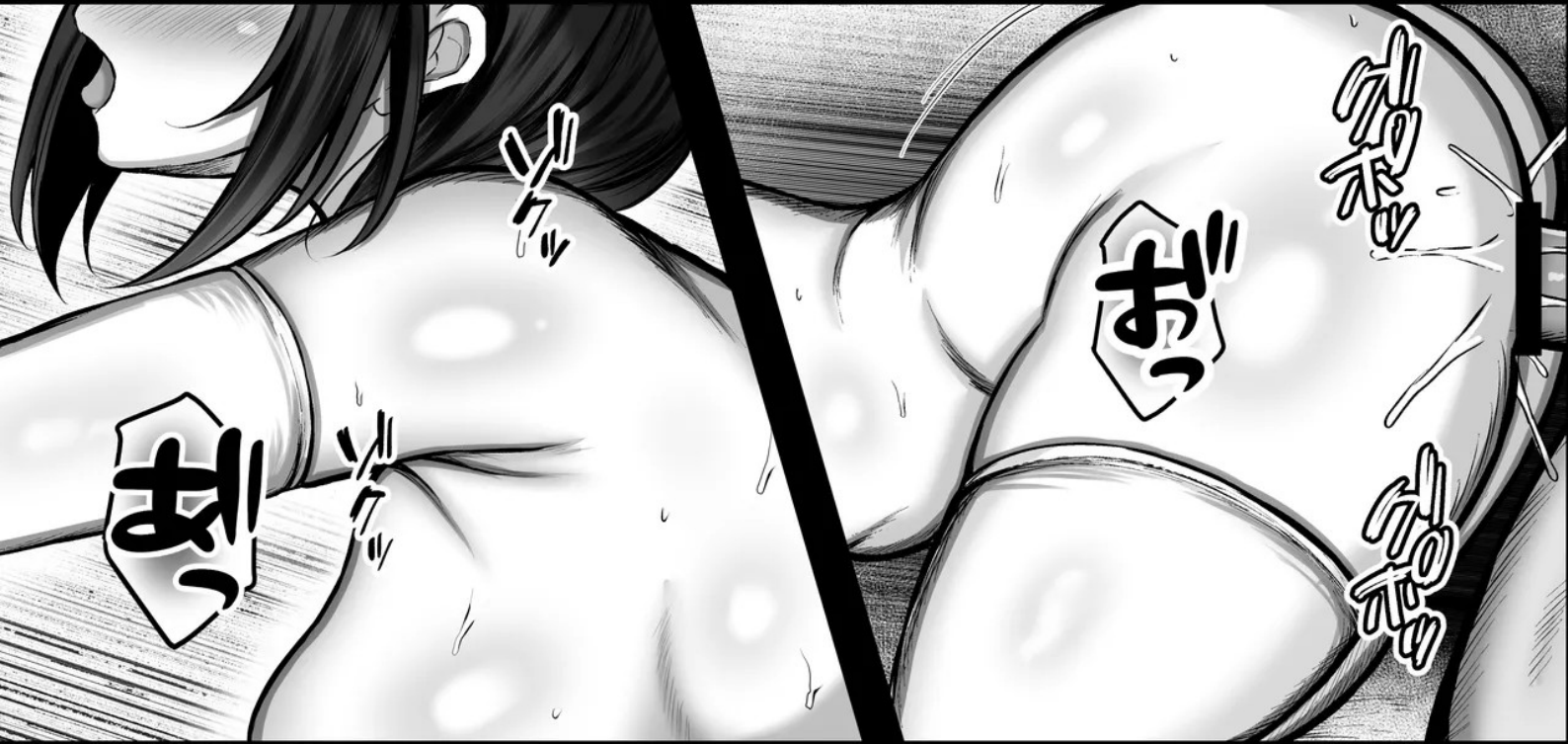
堕ちていた

過去を変え  
られるとしたら

あ、

ん、

そんなことを  
何度も何度も  
考えていた



ただどふと気づいた



でもどれだけ考えても  
現実はなにひとつ  
変わらなくて





相手は同じクラスの  
有田くん

出席番号が近いから  
よく一緒になることが  
あって他の男子に  
比べれば接点はあったけど



綾瀬さんっ  
僕と付き合っ  
てください！

それは本当に  
突然のことだった

生まれて  
初めての告白



わ：わたしなんかで  
よければお願い：します

思ってもみななかったけど  
憧れはあったから



でもだからって  
私みたいな地味で  
暗い女が男の子から  
告白される日があるなんて  
思ってもみななかった



ダメ：かな？

ダメなんて  
そんなこと……っ



私たちは初めてのキスをした

それからの毎日は  
本当に楽しかった



彼は真面目で  
優しくて

いつも笑顔で  
私のそばにいてくれた



綾瀬さ…  
真冬ちゃん

放課後の公園で  
初めて名前を  
呼ばれた日



たぶん彼にとっては…



でもいつかは—

あれ？  
真冬ちゃん？



わたしには  
秘密があった

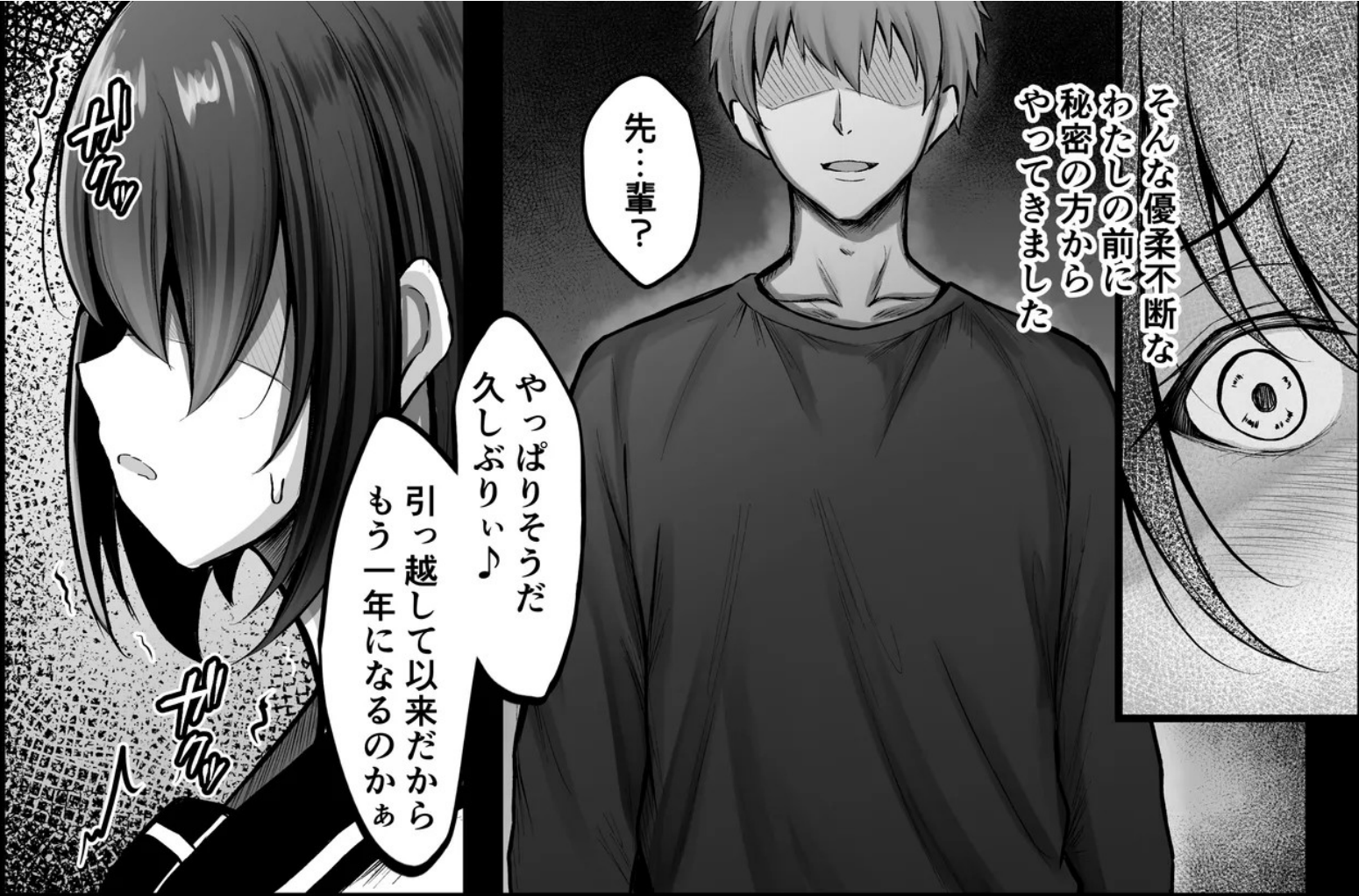
それじゃあ  
また明日

うん…  
また明日



言わないと  
いけない

そう思いながらも  
私は伝えられずにいた



そんな優柔不断な  
わたしの前に  
秘密の方から  
やってきました

先…輩？

やっぱりそうだ  
久しぶりい♪

引越して以来だから  
もう一年になるのかあ

あの…どうして  
先輩がここに？

また親父の異動  
転勤族を親に持つと  
子供は苦勞するよ

ていうかいま  
一緒にいたのって  
もしかして彼氏？

……

いやあ  
あのぼっちだった  
真冬ちゃんが  
成長したねえ♪

でも彼氏くんは  
知ってるの？







適当にナンパして  
発散しようと思ってた  
矢先に真冬ちゃんと  
再会できちゃうなんて♪

引越しの片付けやら  
なんやらで最近はず  
っかりご無沙汰でさ

それにしても  
ツイてるわ

休憩3時間  
¥3000  
宿泊  
¥6000



まさかここまで来て  
帰るとか言わないよね？

ヒクヒク



あ…あの…  
やっぱりわたし…



こっちはもう  
やる気満々で  
テンションマックス  
なんだけどさ

で…でも…

ていうかもう  
我慢できねえわ

あっ!

これこれ♪  
このえっろい  
身体♪

あっ!  
はあっ…ッ

この触り方…  
思い出しちゃう

身体が  
あの頃の…とミ

っーか明らかに  
一年前より  
成長してるよね?

ハクッ  
ハクッ  
ハクッ

あっ

ハクッ

ハクッ

ハクッ

ハクッ

ハクッ



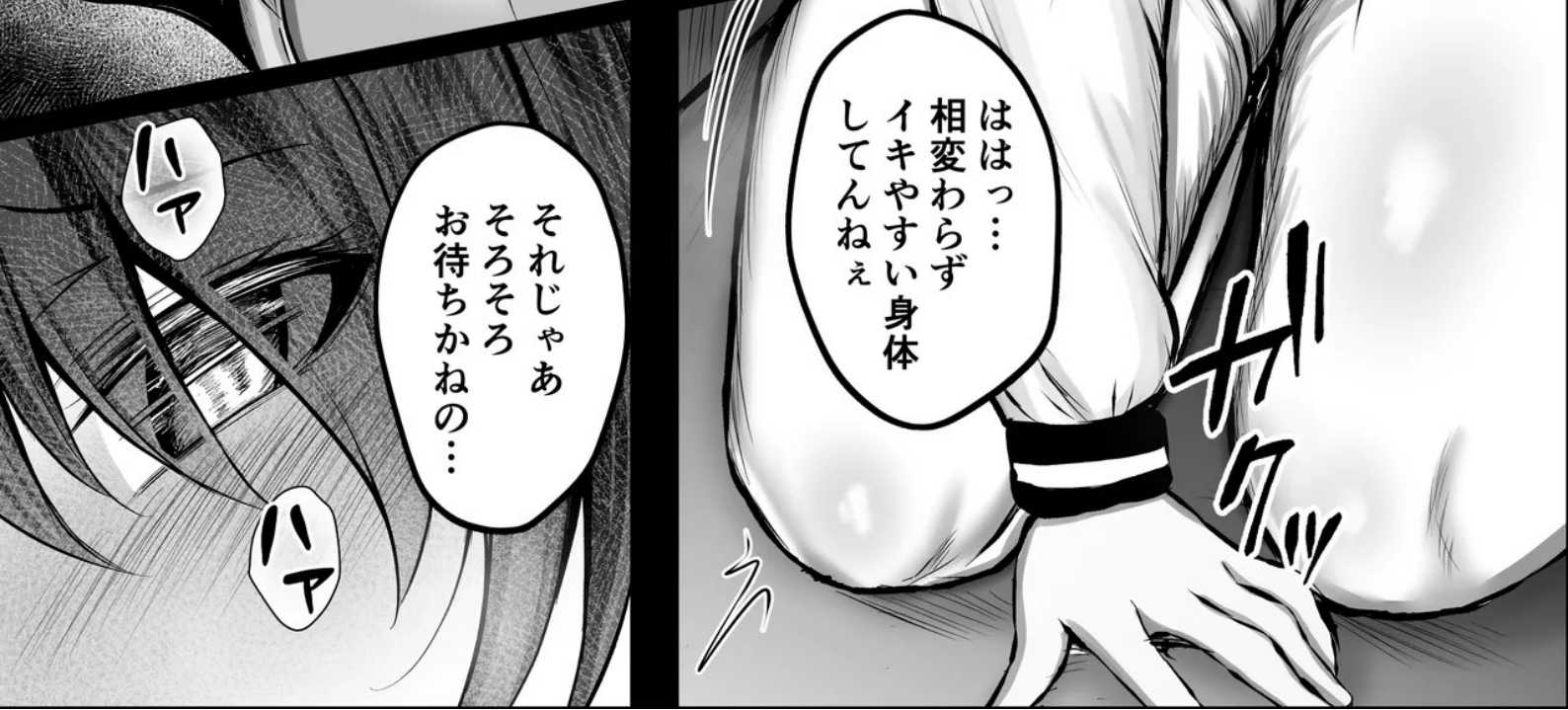
イッちやうッ!

ははっ：  
相変わらず  
イキやすい身体  
してんねえ

それじゃあ  
そろそろ  
お待ちかねの…

ハッ

ハッ





断らないと..  
いけないのぞき

アソコが  
欲しがってる

ほら入っちゃおうよ？

くちゅっ

くちゅっ



セックスタイムと  
いこうか♪



って  
ガン見しすぎw

完全にスイッチ  
入っちゃった？

ダメ...ッ



ああっ！

ちんぽ欲し  
がっちやってるう！

ハッ  
ハッ  
ハッ



エツぐう…  
どろっどろ  
じゃねえか

あっさり奥まで  
啜えこんで  
おきながら

キョウ  
キョウ  
♡

ギユウギユウに  
絡みついて  
きやがってさあ



そんなに  
ちんぽに  
飢えてたの？

♡  
♡  
♡

ハッ  
ハッ

ち…違いまっ…

くちゅっ  
くちゅっ

ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ



違わなく  
ないだろッ

おおんっ!

ほら言ってみなよ  
ちんぽ気持ちいい  
ですってさあ

あっあっあっ!



言わないと  
抜いちゃうぞ

こんな中途半端な  
ところでお預け  
くらって我慢  
できるわけ?

はーっ♡

む…無理ッ

はーっ♡



気持ち…  
です…

聞こえない

こんなところで  
終わっちゃったら  
おかしくなるッ

グンッ

グンッ

グンッ



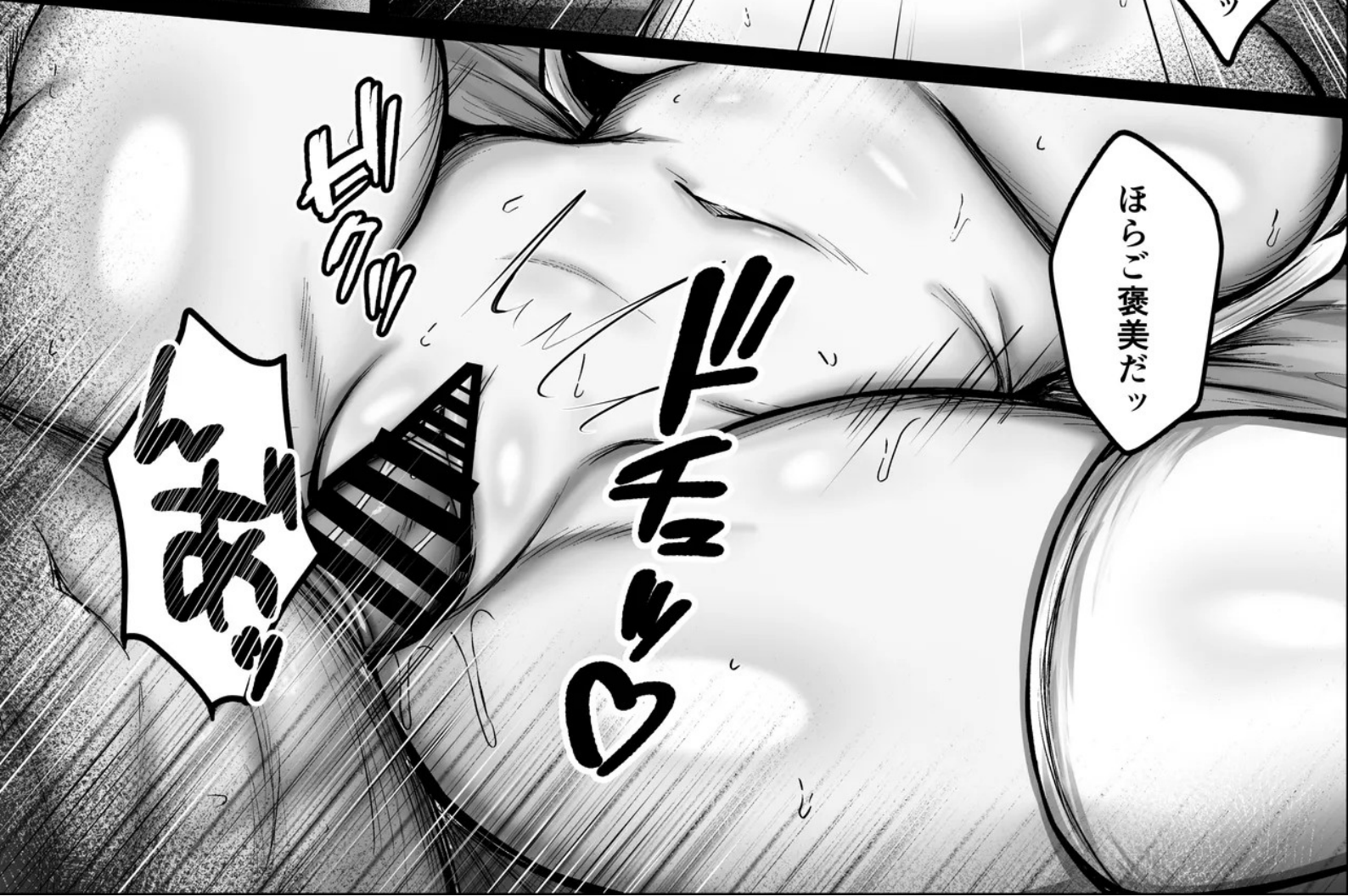
よく言えました

ヤッ

先輩のちんぽ  
気持ちいいですッ!



気持ちいいですッ



ほらご褒美だッ

ドキュン♡

んんん

んんん



ははッ  
下品な声  
あげちゃって

彼氏が聞いたたら  
軽蔑されるかもねw

そんなんっ…

俺はそんなこと  
ないから心おきなく  
よがりなよ♪

あっ♡

あっ♡



そんじゃあ  
こっちも一発  
いっとくかッ

おっ…イキそう？

あっ…ダメ  
もうっ！

あっ♡

バキョッ

バキョッ

あっ♡



ドッ♡

ドッ♡

イッくうう!

ドッ

ドッ

ドッ

ドッ

ドッ

ドッ

ドッ



あー…  
めっちゃ出るわあ

すごい…  
まだドクドク  
いつてる…

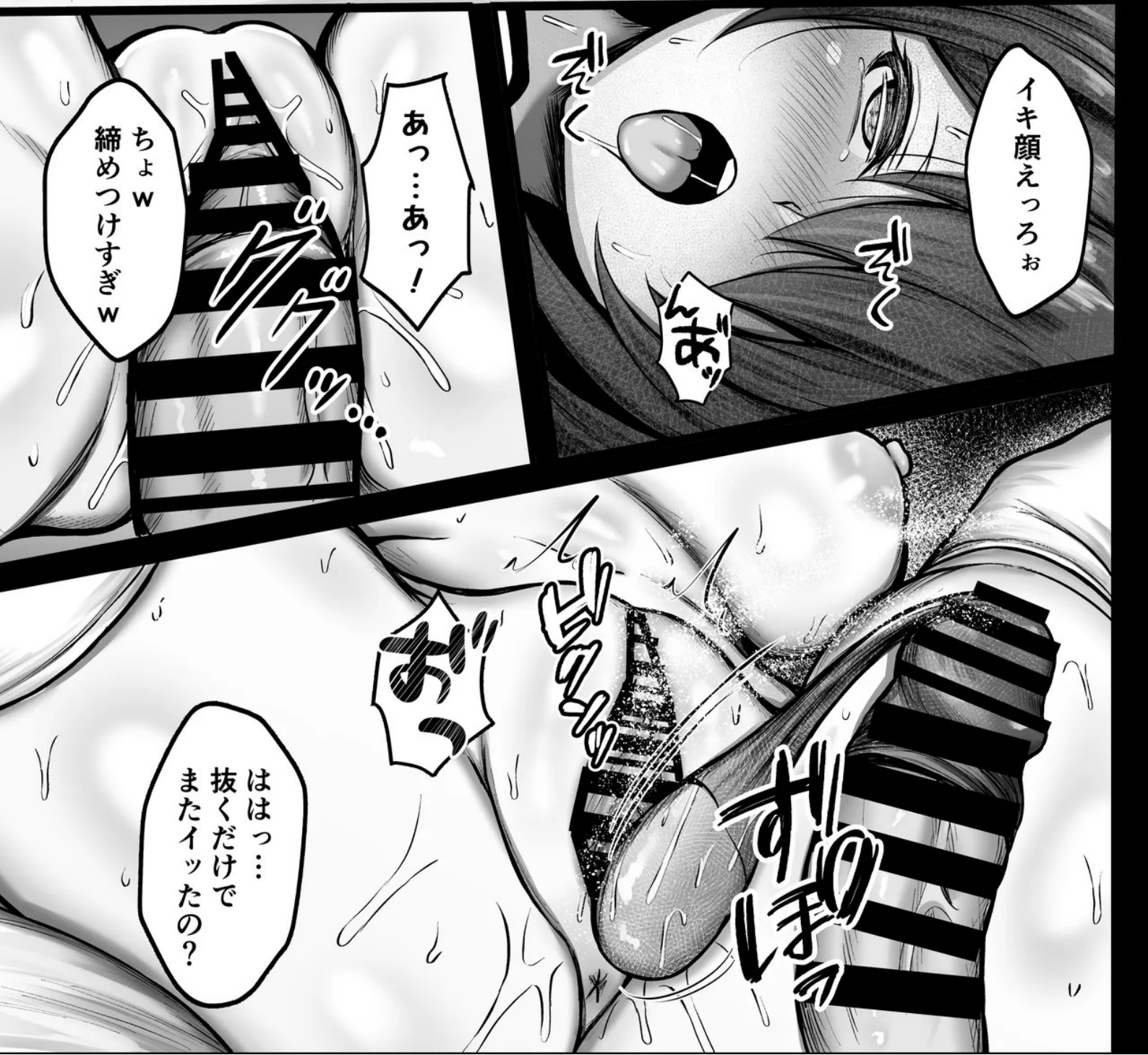
ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク



イキ顔えつろお

あっ…あっ!

ちよw  
締めつけすぎw

あっ…あっ…

あっ

あっ

あっ

あっ

あっ

あっ

ははっ…  
抜くだけで  
またイッたの?



少し休憩したら  
また続きするからな

さてと次は  
どんな趣向で  
楽しもうか…

お…  
これなんか  
いいかも♪



今夜は帰す気ないから  
家族に適当な言い訳  
考えておきなよ



なのにあそこが  
熱くなって…

ググッ

卑猥な恰好して  
興奮してんの？



そんなことッ



んっ

くちゅっ

こんなに濡らしておいて  
なに言ってるの？



ドキ

ドキ

ドキ

いいねいいね

やっぱり真冬ちゃんには  
そういう恰好がよく似合うわ

こんな恰好  
すごく恥ずかしい…



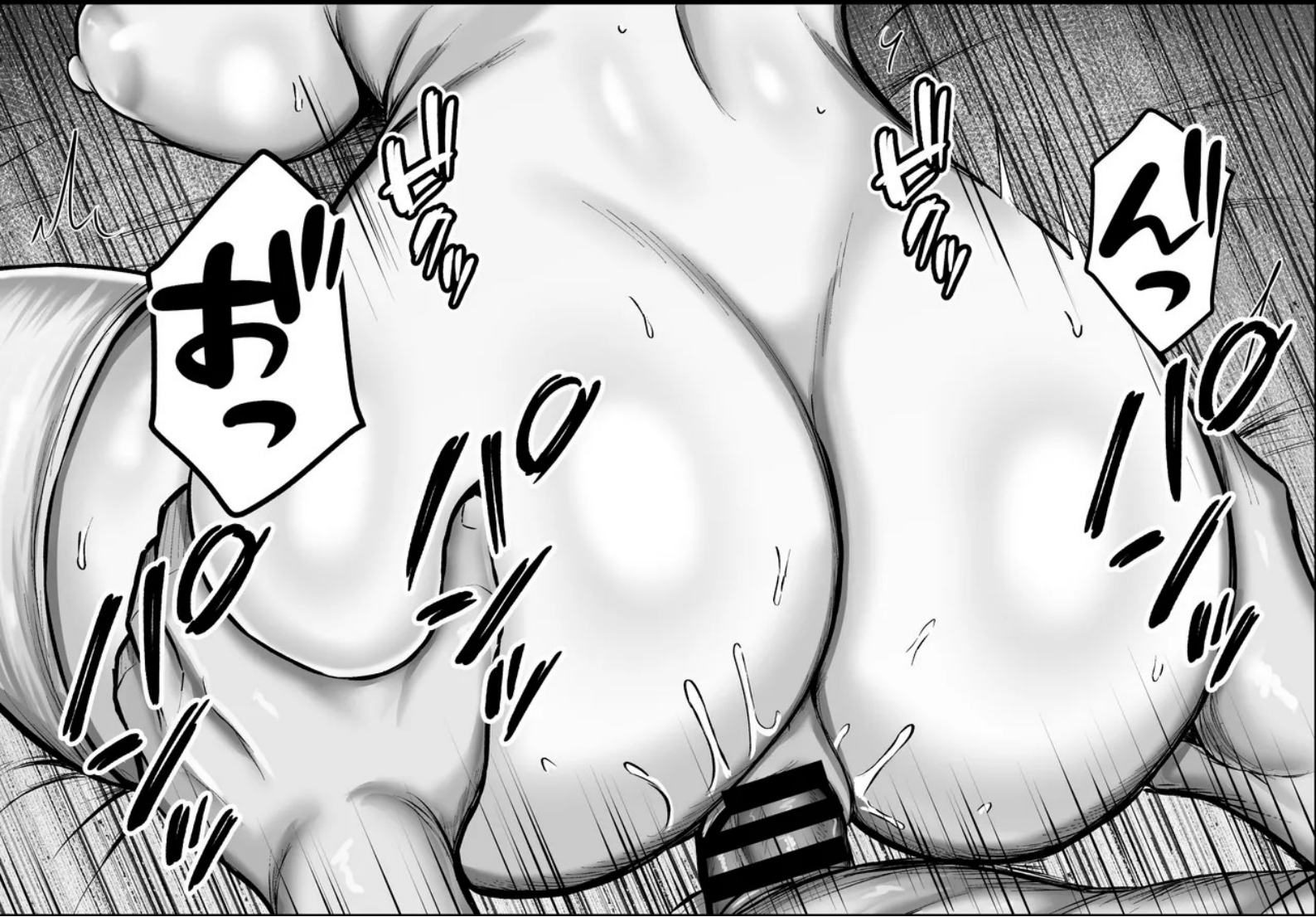
ほら挿入れてやるからお尻向けな



あっ…アツ

奥までぐちよぐちよじゃんか

…はい



おっ

んっ

はー♡

すっぴん♡

はー♡

一番深いところ  
グリグリされ  
ちゃってる♡

グモ♡

グモ♡

されてるばっかじゃ  
なくて自分からも  
動いてみ？

は…はいッ

グモ♡

グモ♡

グモ♡

グモ♡

そうそう♪

ていうかめっちゃ  
押し付けて  
くるんだけどw

どんだけ  
欲しがりさん  
なんだよw

グモ♡

グモ♡

グモ♡

んっ



なに？  
違うの？

なら抜いちゃ  
おうかなあ



このまんこ  
ちんぽに  
飢えすぎだろ

そんな...ツ

違いますんツ！  
飢えてますっ  
わたしのまんこ  
ちんぽに飢えてますツ



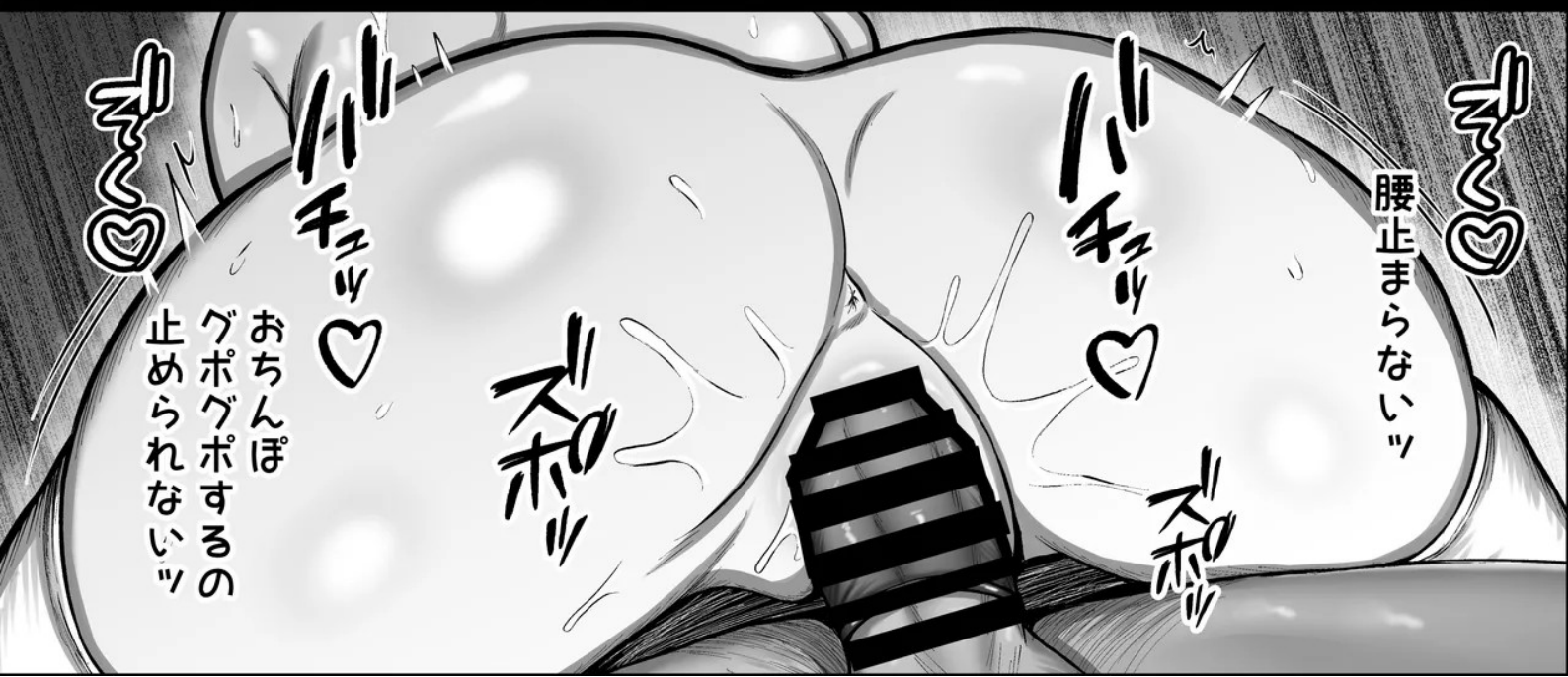
ははっ  
そうかそうか  
なら今度は上  
なって動きなよ



いいねいいね  
その調子♪

あつ…  
これずグミ…

すぐく深いところ  
まで届いてツ



腰止まらないツ

おちんぽ  
グポグポするの  
止められないツ



お：オナニーツ  
オナニーしてましたツ

ほら質問には  
すぐ答えるっ



そ…それは…



あまっ♡

あ♡♡

ムク♡♡

ほんと見た目に  
反してエロすぎっしょ

てかこの一年間  
どうやって性欲を  
発散させてたの？



へーw  
どんくらぶ？

ムク♡♡

ま…毎日ですツ  
毎日毎日…  
自分で慰めて  
ましたツ！

なにを  
想像しながら？

この…ちんぽ…  
先輩のちんぽを  
想像しながら  
おまんこ弄って  
ました…

ズン

ズン



なんでシないの？

ていうか  
まだシてないのが  
驚きだけど

それは…



それって彼氏が  
できたあとも？

ははっ…かわいいそ  
そこは彼氏を  
想像してあげなよw

は…はいッ



おっ  
おっ  
おっ

まあこんな  
エロい本性  
隠してるの  
知られたくないか

でもこれからは  
このちんぽで  
いくらでも発散  
させてあげるから  
安心しなよ



ドサッ

あっ！



俺の前だけでは  
エロい本性  
さらけ出してさ



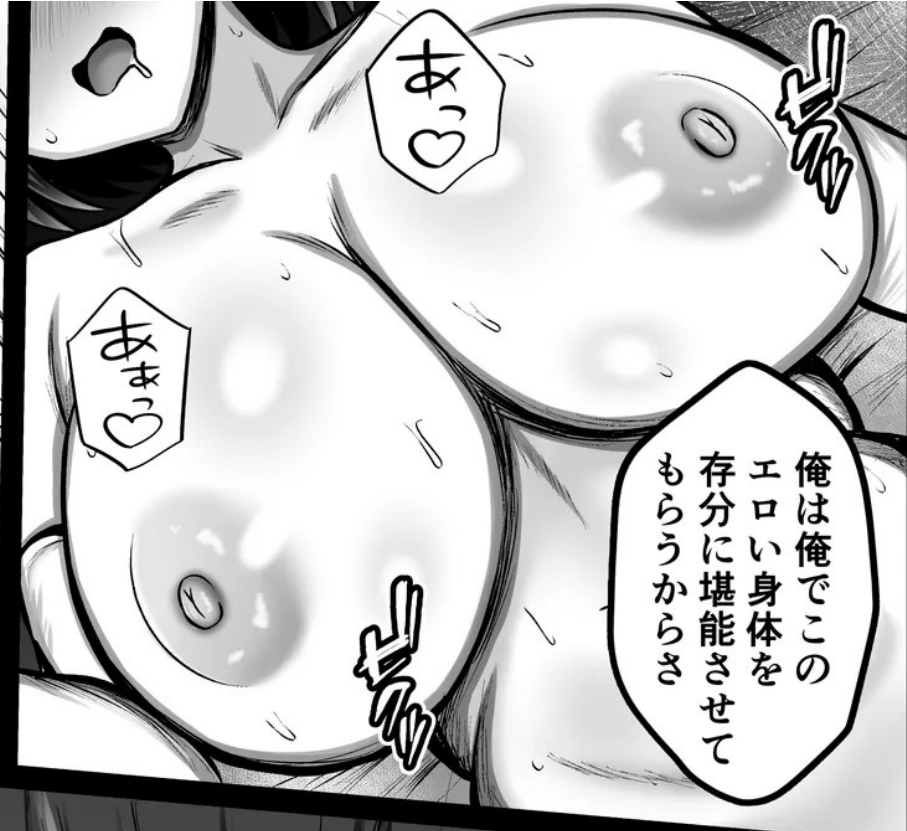
ぐちよぐちよの  
まんこでちんぽ  
啜えこんで



下品なオホ声  
漏らしながら  
いくらでも  
喘いでいいんだよ

これってお互いに  
winwinだと  
思わない？

あーっ  
あーっ



俺は俺でこの  
エロい身体を  
存分に堪能させて  
もらうからさ



で…でも  
それは…

ほら言ってみ？  
今日からまた  
先輩のセフレに  
なりますって



あっ！

無理するなって

あーっ  
あーっ

あーっ

真冬ちゃんの  
まんこは  
なりたがってるよ

グロ  
ホッ

ん  
お  
キ

そんなに奥  
グリグリされたらッ

グロ  
ホッ

我慢は身体に  
毒だって

ん  
お  
キ

もっとこの  
ちんぽで  
イキたいだろ？

ハ  
ア  
キ  
キ

イキたい…ッ

ハ  
ア

キ  
キ

オナニーしながら  
妄想してたこと  
なんでも  
してあげるよ？

なんでも…？

ハ  
ア

グ  
ロ  
ホ  
ッ

♡

ハッ

…なります

なんだったって？  
よく聞こえないなあ

だからもっと  
気持ちよく  
してくださいッ

ニカッ

先輩のセフレに  
なりますッ！

先輩のおちんぽで  
おまんこズボズボ  
してくださいッ！

悪くないけど  
ひとつだけ  
間違ってるよね

お

お

お



セフレになります  
じゃないだろ？

してください  
…だろ？

はいッ！

してください

先輩のセフレに  
してください！



すん  
ちんぽすん！

んんん♡

んんん♡

んんん♡



よしよし  
いい子だ

あッ

んんん

んんん



そういう従順な子には  
ご褒美をあげないとね！

んんん

んんん



ちんぽが  
気持ちいい  
ところいっぱい  
擦ってッ♥

どうすんの？



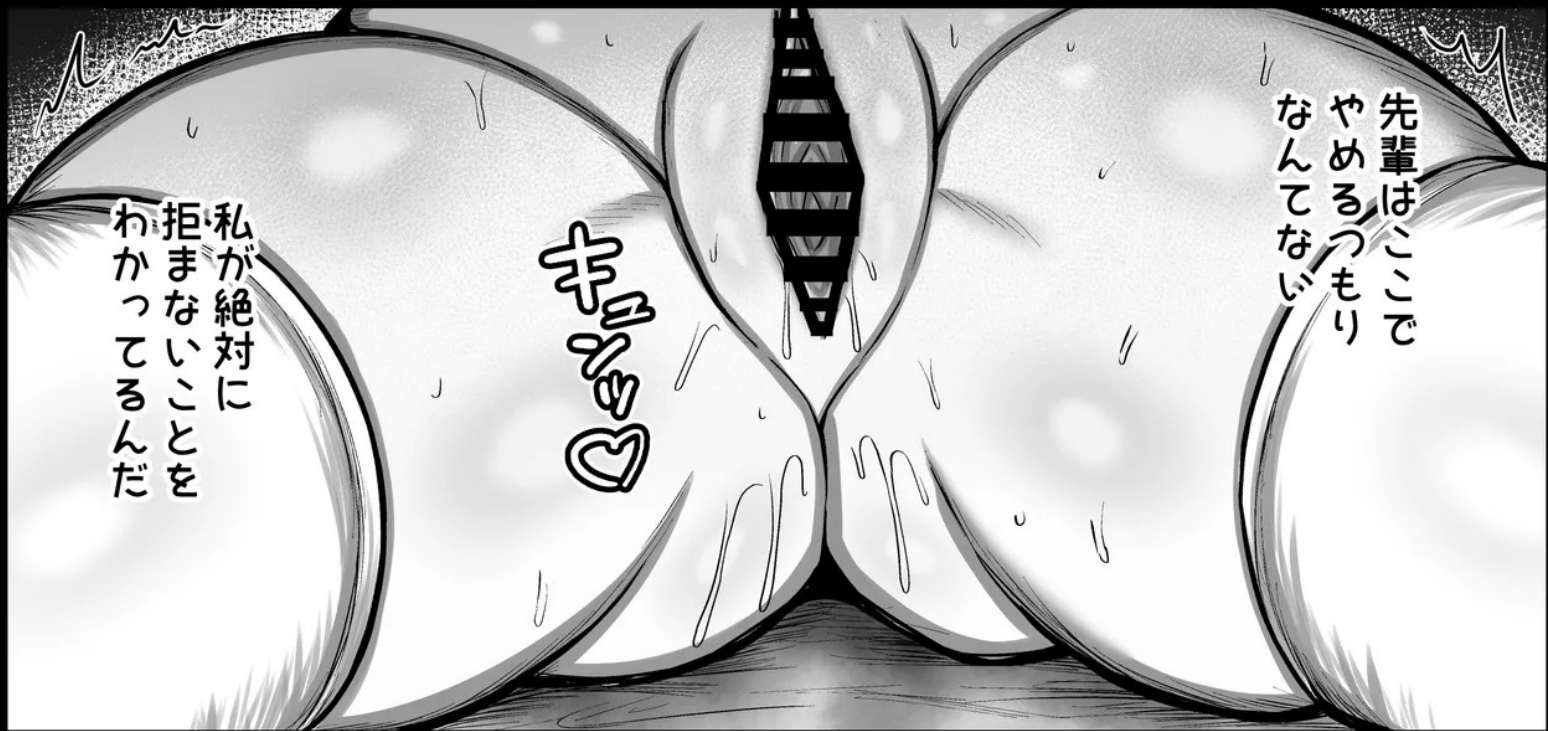
あ…イクっ…  
また…おっおっ！

ははっ  
膣内めっちゃ  
痙攣してるじゃん



よっと

あっ…



先輩の生ちゃんぽ  
ここにください

ニキド♡

おまんこの奥まで  
ぶちこんでください♡

ニキド♡

このちゃんぽ無しでは  
生きていけないから

そんな風にも  
お願いされたら  
聞いてあげない  
わけにはいかないな

ズンッ  
ズンッ

ほら  
存分に  
味わいなッ

おおおっ♡



その一線を  
超えた瞬間

私は完全に  
堕ちたと  
思ったけれど

どちゃっ♡

どちゃっ♡

どちゃっ♡

おっ

んがっ

どちゃっ

それは違つと  
すぐに気づいた



ほらどうだ  
生の感触は

ずわっ

ずわっ

ずわっ

ずわっ

ずわっ

気持ちいいです♡

生ちゃんぽ  
気持ちいいッ♡

ずわっ

ずわっ

ずわっ



それをいま  
気づかされた  
だけなのだ



私は初めから  
堕ちていて



そしてこれからも  
ずっと堕ちていく

先輩のちんぽを  
はしたなく  
貪り続けていく

刺っ

んんん

んっ

んんん

あーヤベ…こっちも  
気持ちよすぎて  
もう射精そうだわ

ズホッ

ズホッ

んっ♡

このまま中出し  
していいよな？

は…はい♡

中出し  
してください♡

んんん♡

先輩の精液  
おまんこの  
中に注いで  
ください♡

んんん♡



おっ...激しッ  
ああああッ

やっばお前  
最高だわッ

んおッ

んおッ

んおッ



ハッ

イク♡

ハッ

ハッ

イクイク♡



ほらいくぞ  
臍内でしっかり  
受け止めるよ

これッ  
しゅごッ♡



イク♡  
私モイクますッ♡

ハッ



イクうううッ!

クッ  
グッ  
ズッ

クッ  
グッ  
ズッ

クッ  
グッ  
ズッ

クッ  
グッ  
ズッ

クッ  
グッ  
ズッ

クッ  
グッ  
ズッ

クッ  
グッ  
ズッ

その脈動は  
今までで  
一番長く続き…

私の膣内に  
熱い精液を  
注ぎ続けた



私もまたその感触に  
身体を震わせながら  
今までで一番長い絶頂を  
味わい続けていた



—ごめんなさい—

ふと浮かんだ  
なんの意味も  
なさない  
謝罪の言葉

だって私には  
それを直接伝える  
勇気なんてない  
のだから

だからきつと

はーん♡

はーん♡

はーん♡

はーん♡

はーん♡

私はこれからも  
彼を裏切り続ける

はーん♡

どろおへ...

アッ♡  
アッ♡

もし過去が  
変えられる  
としても

先輩…  
もっと  
ください♡


はーん♡

私はきつと  
同じ道を  
選ぶのだから…

彼女は

初めから

陣ちていた



**発行日:2025年5月1日**  
**発行者:カナ(サークル水面月)**

**この物語はフィクションです。**  
**18歳未満の購入、閲覧、所持を禁じます**  
**本作品の無断複製・転載・インターネットへの**  
**アップロード・AI学習を禁じます。**

© 2025 カナ



